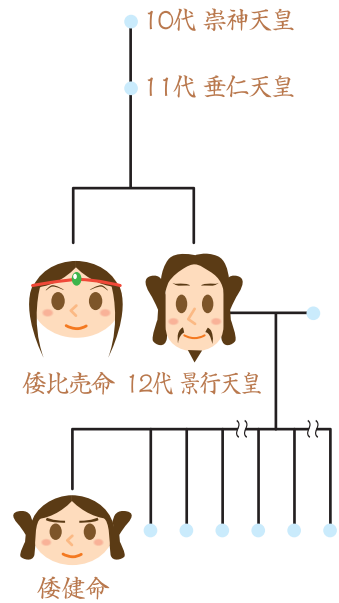




# 倭健命の戦い

やまとたけるのみこと

## 〈今回の登場人物〉



倭健命という人物をご存じでしょうか。彼は当初から倭健命という名前ではなく、父である景行天皇から熊會健を服従させるように命じられ、見事に討ち取ったことから強さを讃えられてその名が付けられました。

戦に長けていた倭健命は、西へ東へと大和朝廷に服従しない勢力を制圧していきます。その戦法は少しユニークです。たとえば、熊會健との対戦には、叔母である倭比売命の衣裳を持って行きました。

ときに熊會健は新築祝いの宴の真つ最中。倭健命は女装することで宴の場に忍び込み、油断した熊會健に近づけることができたのです。あるいは出雲健を討つときは、まず彼と友達になりました。そしてひそかに木でできたニセモノの太刀を持って一緒に水浴びにでかけます。先に川から上がった倭健命はそれぞれの太刀を交換しようとして持ちかけた後、太刀あわせに誘いニセモノの太刀が抜けなかった出雲健を倒したのでした。

しかし、そんな倭健命もとうとう敗れることになります。それは伊吹山の神へ戦いを挑んだときのことです。彼は倭比売命からもらった草なぎの剣を使わず、素手で討ち取ろうとしますが、返り討ちにあい結果的に命を落としました。最期は自らの油断から身を亡ぼすことになったのです。

**編集部の古事記コラム**  
古事記では倭健命は伊吹山で傷を負い、能煩野という場所(三重県の亀山市付近と言われています)で亡くなったと書かれています。亡くなる前、倭健命は帰れないふるさとへの思いをこめ、次のような歌を詠みました。

『倭は国のまほろば たたなづく青垣山籠れる倭し麗し』  
(大和は国の中でも最もよいところだ。重なり合った青い垣根の山、その中にこもっている大和は美しい)

『命の全けむ人は 豊薦平群の山の熊白橋が葉を髪華に挿せその子』  
(命の無事な人は、大和の国の平群の山の大きな榎の木の葉をかんざしに挿せ。おまえたちよ)

**クイズ**  
古事記ハカセへの道  
先月の答え  
① ヤマトタケルでした。

今回のお話のように、日本各地を遠征したと古事記には書かれています。

**今月の問題**  
Q 倭健命の子、仲哀天皇の死後、朝鮮半島の新羅に遠征したと書かれています。誰でしょうか？

① 仲哀天皇の弟  
② 仲哀天皇の皇后  
③ 仲哀天皇の子ども

答えは来月号を見てね♪